

平成29年度予算見積調書

課室名：生徒指導課

担当名：生徒指導・いじめ対策・非行防止

内線：6754

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B67	いじめ・非行防止学校支援推進事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	非行防止対策費	
事業期間	平成14年度～平成29年度	根拠法令	いじめ防止対策推進法第18条		挑戦項目	06 次代を担う人財育成		
					分野施策	030621 豊かな心と健やかな体の育成		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>学校の抱える児童生徒の問題行動や生徒指導上の諸課題の未然防止・早期解決を図るべく、各教育事務所ごとに校長OB等によるいじめ・非行防止支援員を配置し、学校の要請に基づいて関係機関や地域住民等を構成員としたネットワークや支援チームを編成する。</p> <p>(1) いじめ・非行防止支援員の配置 20,992千円 (2) いじめ・非行防止ネットワークの形成 147千円 (3) いじめ・非行対応支援チームの編成と行動連携 704千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア いじめ・非行防止支援員の配置 20,992千円 各教育事務所に校長OB等による支援員を配置(4教育事務所×2人)し、いじめ・非行防止ネットワーク又はいじめ・非行対応支援チームをコーディネートするとともに、生徒指導全般に係る指導・助言を行う。</p> <p>イ いじめ・非行防止ネットワークの形成 147千円 各教育事務所ごとに、いじめ・非行防止ネットワーク構成員(教員、警察、市町村の子ども福祉関係課、保護司、PTA等)による連絡協議会を開催。未然防止のため各学校への情報発信等を実施。</p> <p>ウ いじめ・非行対応支援チームの編成と行動連携 704千円 困難な事案が発生した際に、支援チーム(学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等)による生徒、教員への支援を実施。構成員の専門性を生かし問題の早期解決を図る。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア いじめ・非行防止ネットワークの活性化 課題を抱える児童生徒に関して、ネットワーク内における具体的な情報交換を実施する。当該児童生徒の問題行動や諸課題の未然防止や早期解決に向け、相互の連携を図る。</p> <p>イ いじめ・非行対応支援チームの編成、運営促進 いじめ・非行防止支援員が、個々事案に対する最適なチーム構成員を調整。チーム運営の進め方、客観的視点による事案背景分析など、随時指導・助言を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ネットワーク編成校と非編成校における「暴力行為」「いじめ」「不登校」の対比</p> <p>ア 編成校(小学校10校、中学校112校)計122校 暴力行為：計 356件……前年比： -29.37%) いじめ：計 472件……前年比： +38.01%) 不登校：計1373件……前年比： +0.29%)</p> <p>イ 非編成校(小学校703校、中学校251校)計954校 暴力行為：計 819件……前年比： +36.96%) いじめ：計3419件……前年比： +166.90%) 不登校：計3055件……前年比： +6.45%)</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) (国1/3・県2/3) (2) (3) (県10/10)</p>								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.6人=5,700千円								
予算額		財 源 内 訳						
		国庫支出金	諸収入				一般財源	前年との対比
決定額	21,843	5,129	2,201				14,513	3,477
前年額	18,366	5,818	1,077				11,471	